

高校生による  
「特殊詐欺防止啓発活動」  
に関する報告書

2022 年度 富山県立志貴野高等学校

## 目次

---

活動の趣旨・経緯 .....	2	
学校概要 .....	3	
実施スケジュール、実施概要 .....	3	
活動レポート		
* 5月		
特殊詐欺防止啓発教室の実施（高岡警察署） .....	4	
* 6月		
特殊詐欺防止啓発キャンペーン .....	6	
特殊詐欺防止啓発教室の実施（富山信用金庫） .....	7	
* 7月		
啓発グッズ制作 .....	9	
特殊詐欺防止啓発活動の実施（高岡老人保健施設長寿苑） .....	10	
* 8月		
ゆかた de 特殊詐欺防止啓発活動の実施（高岡七夕まつり） .....	11	
* 9月		
特殊詐欺防止啓発活動の実施（オタヤ子ども食堂） .....	12	
* 10月		
特殊詐欺防止啓発活動の実施（八丁道おもしろ市） .....	13	
* 11月		
文化祭での活動報告 .....	14	
* 2月		
生活文化科合同 HR での活動報告 .....	15	
高岡警察署長より感謝状贈呈 .....	16	
各媒体における紹介 .....		17
啓発グッズの配布実績 .....		18
1年間のまとめ .....		19

## 活動の趣旨・経緯

---

本取組みは、学校家庭クラブ等の枠組みを活用して、生徒自身が特殊詐欺の被害が身近なところで起きている問題であることと捉え、その防止策等について理解し、生徒自身が考えた「特殊詐欺防止啓発活動」を地元地域で実践することで、生徒による社会貢献活動、ひいては地域における「特殊詐欺防止啓発活動」の自立的な広がりを期待したものである。全銀協は本取組みに関して、支援金の拠出や、活動に当たっての各種アドバイスや資料提供などのサポートを行うこととしている。

本取組みは、①「消費者教育に関する基本的な方針」（2013年6月閣議決定、2018年3月変更）において、金融経済教育と連携した消費者教育を推進することが重要であることが示されたこと、②学校教育において、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習の重要性が高まっていること、③全銀協の金融経済教育活動懇談会（2015年2月開催）において、学校家庭クラブの活用、特殊詐欺防止をテーマとした生徒による教材制作について提言があったこと、などを踏まえ、2016年度より導入したものであり、以下のような効果を期待している。

- 対象層数の拡大…金融経済教育に取り組む学校・教員・生徒数の増加
- 教育現場との連携強化…教育委員会・家庭科教員との新たなパイプ作り
- アクティブラーニングの実践…高校生が主体的・協働的に学ぶ学習機会の提供
- 金融犯罪防止啓発活動の効果…高校生が考える防止啓発活動の実践
- 対外PR力の向上…高校生による活動報告公表による広告効果

7年目となる2022年度は、富山県教育委員会下で実施校を募集し、富山県立志貴野高等学校に「特殊詐欺防止啓発活動」を委嘱した。

## 学校概要

---

### ■沿革

- 昭和 36 年 4 月 富山県立高岡産業高等学校開校
- 昭和 43 年 4 月 富山県立志貴野高等学校と改称
- 平成 16 年 4 月 新校舎（ウイング・ウイング高岡）へ移転
- 令和 3 年 10 月 創立 60 周年記念式典挙行

### ■特色

志貴野高校は平成 16 年、高岡駅前のウイング・ウイング高岡へ移転し、生涯学習機能をあわせもつ定時制単位制高校となっています。

「働きながら学ぶ」、「自ら計画したペースで学ぶ」など、時代の変化や新しいライフスタイルに柔軟に対応する学習の仕組みが工夫された学校です。

一般の方とともに学ぶ「共学講座」や、地域のボランティア活動等を通して、生涯にわたって学ぶ意欲をもった生徒の育成を目指します。

### ■校訓

研学 実践 誠実

### ■教育目標

人間尊重の精神にもとづき、校訓のもと、真理を追究するとともに社会の変化に主体的に対応できる生きる力・自己教育力を培います。創造力と実践力に富み、誠実で豊かな心を持って、たくましく生きる人間の育成を目指します。

## 実施スケジュール

---

5 月	・高岡警察署による「特殊詐欺防止啓発教室」実施
6 月	・「特殊詐欺防止啓発キャンペーン」実施（イオンモール高岡東館） ・富山信用金庫による「特殊詐欺防止啓発教室」実施
7 月	・啓発グッズ制作（のぼり旗、チラシ、うちわなど） ・「特殊詐欺防止啓発活動」実施（高岡老人保健施設長寿苑）
8 月	・「ゆかた de 特殊詐欺防止啓発活動」実施 （「高岡七夕まつりオープニングセレモニー」、「クルン高岡前」）
9 月	・「特殊詐欺防止啓発活動」実施（オタヤ子ども食堂）
10 月	・「特殊詐欺防止啓発活動」実施（八丁道おもしろ市）
11 月	・文化祭での特殊詐欺防止啓発活動報告
2 月	・生活文化科合同 HR での特殊詐欺防止啓発活動報告 ・高岡警察署長より感謝状贈呈
3 月	・活動まとめ

## 実施概要

---

学校家庭クラブ委員会での活動を中心に、学校全体で協働して実施。

## 活動レポート

### ■ 5月6日（金）10：40～11：25 特殊詐欺防止啓発教室の実施

（講師：富山県高岡警察署 生活安全課 生活安全総務係長 宮腰龍峰 様）

特殊詐欺について正しい知識を得て自分自身を守ると同時に、家庭や地域社会の中で特殊詐欺を防止する行動や防止啓発活動が行えるよう学びを深めることを目的に、高岡警察署員による講義が実施された。当日は、昼間制学校家庭クラブ会員（1年次全員および生活文化科2～3年次）83名が参加した。

講義では、富山県や高岡市内の特殊詐欺被害の状況、高岡市内で発生した特殊詐欺の事例について講師から説明があった。

富山県内の2022年に入ってからの特異詐欺認知件数10件、被害総額約4,690万円（3月末時点）、高岡署管内では2件、被害総額約250万円（4月末時点）の被害が発生。最も多いのは還付金詐欺で、架空料金請求詐欺（電子マネー型）、オレオレ詐欺が続いている。被害者の約8割が高齢者で、特に還付金詐欺では60歳代の女性が被害に遭いやすいこと、犯人からの接触方法は電話が約8割であることが伝えられた。

【4月20日発生した事例】息子と病院関係者を名乗る者から架電、トラブル発生のため現金が必要と伝えられ、息子を騙る者に指示されるまま家に来た息子の上司を名乗る者に現金200万円を手渡しだまし取られる。

この事例のように、家族を名乗り、トラブルが発生したことを装って動揺させ、急いで現金を用意させたり、キャッシュカードなどを預けるよう要求したりするのは特殊詐欺の手口であること、現金やキャッシュカードを手渡す前に、家族や警察などに相談するよう伝えられた。

最後に、富山県警察が特殊詐欺の被害防止を訴えるために考案した「だまされんちゃ！体操」の動画※を視聴。生徒たちは体操を行い、振付けを覚え講義は終了した。

#### 【生徒の感想（抜粋）】

- ・特殊詐欺の被害の大きさに驚いた。今後の活動で高齢者が被害に遭わないようしっかり伝えていきたい。
- ・特殊詐欺の手口を知らない人たちに、今後のイベントなどの活動で伝えていきたい。

※富山県警察公式チャンネル「だまされんちゃ！体操」  
<https://www.youtube.com/watch?v=DCoNCBXR3uY>

【講義の様子】



## ■ 6月15日（水）13：30～14：30 特殊詐欺防止啓発キャンペーンの実施

---

イオンモール高岡東館イオンスタイル南入口前で、高岡警察署員と二塚校下防犯組合連合会との合同による「特殊詐欺防止啓発キャンペーン」を実施した。

活動に参加した生徒5名は、富山県警察マスコットキャラクター「立山くん」や警察署員らと一緒にのぼり旗を持ち、来店者へ「こんにちは、特殊詐欺には気をつけてください」と声がけをしながら、高岡警察署が作成した啓発グッズやチラシ150部の配布を行った。

### 【活動の様子】



## ■ 6月22日（水）13：20～14：05 特殊詐欺防止啓発教室の実施

（講師：富山信用金庫大島支店 支店長代理 坂森徹也 様、職員 藤田桜子 様）

家庭や地域社会の中で特殊詐欺を防止する行動や防止啓発活動を行えるよう学びを深めることを目的に、金融機関の窓口対応で特殊詐欺被害を阻止した経験を持つ金融機関職員による講義が実施された。当日は、生活文化科3年15名が参加した。

前半は、富山信用金庫 大島支店の坂森氏から富山県内での特殊詐欺発生状況について、後半は同支店の藤田氏から特殊詐欺被害を阻止した際の実際の状況について講義が行われた。

富山県における2022年度5月末現在の特殊詐欺の状況は、発生件数22件、被害総額約5,600万円で、それぞれ前年同期比13件増、約4,100万円増（約3.7倍）で推移していることが伝えられた。

主な手口としては、還付金詐欺が9件（41%）、次いでキャッシュカード詐欺盗が6件（27%）、電話での接触が19件（86%）で、65～69歳の女性が最も多く被害に遭っていることも伝えられた。

特殊詐欺被害が増加する一方、金融機関等での被害阻止件数は25件、被害阻止額約1,340万円（前年同期比約2.4倍）となっている。

そこで、金融機関の窓口対応によって特殊詐欺被害を阻止することができた実際の状況について説明していただいた。

2021年7月29日（木）午後6時に60歳の女性が富山信用金庫大島支店に来店。「射水市役所介護保険課から自宅に電話連絡があり、還付金を受け取ることになった。ATM（現金自動預払機）で手続きをしようと思いましたが、窓口が開いていたので確認したい」と窓口対応をしていた藤田氏に相談。女性から、電話で指示された手続き内容など聞き取る中で藤田氏は特殊詐欺と判断、女性を説得し坂森氏が射水署に通報したことで被害を阻止することができた。

同支店では、この事件が発生する直前に射水署による防犯訓練を実施しており、訓練での指導内容が特殊詐欺被害を阻止することにつながった。

最後に坂森氏から、電子マネーカードを悪用した特殊詐欺も増えていることから、コンビニエンスストアでお年寄りが電子マネーカードを購入している様子を見かけたら、勇気をもって声がけをしてほしい、その勇気が特殊詐欺被害の阻止につながるといったことが伝えられ、講義は終了した。

### 【生徒の感想（抜粋）】

- ・「ATMに着いたら電話をかけてほしい」というのは、特殊詐欺犯の決まり文句だということが分かった。
- ・特殊詐欺を阻止できた件数もかなりあり、思っている以上に阻止できていることも分かった。
- ・金額が少額でも「怪しい」と感じたら、周りの人に相談することが大事だと思った。



【講義の様子】



## ■ 7月 啓発グッズの制作

家庭クラブ委員会を中心に、チラシ、のぼり旗、啓発グッズ（ポケットティッシュ用ラベル、うちわ）の制作を行った。

標語に合わせてどのようなデザインにすれば一人でも多くの人の目に留まるものになるか、特殊詐欺防止の意識を高めることができるかなど検討を重ね、作業を進めた。

デザインの中には、学校オリジナルマスコット「ポプリン」を使用したものもあり、地域の方々には親しみやすい啓発グッズに仕上がった。

【チラシ（表・裏）】



【ポケットティッシュ用ラベル】



【のぼり旗】

【うちわ（表・裏）】



## ■ 7月12日（火）13：30～14：30 特殊詐欺防止啓発活動の実施

生活文化科3年次生徒が毎年訪問している高岡老人保健施設長寿苑での交流活動において特殊詐欺防止啓発活動を実施、チラシやうちわ、ポケットティッシュの配布を行った。

生徒たちは事前に劇チームと体操チームに分かれ、特殊詐欺防止をテーマにした朗読劇と、富山県警察考案の「だまされんちゃ！体操」の練習を行ってきた。また、ポケットティッシュの配布に合わせカラフルな布で「ポケットティッシュケース」を製作し、当日に向けて準備を進めてきた。

当日は2つのチームがそれぞれに活動を行った。

### 【劇チーム】

高齢女性、詐欺師、受け子等の役に別れ朗読劇を行い、5つの合言葉を提示して特殊詐欺防止の呼びかけ。

#### 5つの合言葉

- ・留守番電話や通話録音装置の活用
- ・家族で合言葉を決めておく
- ・本人（家族など）にかけ直して確認
- ・怪しいと思ったら警察などに相談
- ・個人情報や暗証番号を教えない

### 【体操チーム】

「だまされんちゃ！体操」の動きを参加者全員で練習。その後、一緒に体操を行い、「特殊詐欺にはだまされんちゃ」と唱和。

最後に、チラシとうちわ、手作りのポケットティッシュケースを一人一人に手渡し、改めて特殊詐欺防止を呼びかけた。

### 【活動の様子】



■ 8月1日（月）18：30～19：00 ／ 8月5日（金）16:00～17:00  
ゆかた de 特殊詐欺防止啓発活動を実施

---

高岡七夕まつり期間に、「ゆかた de 特殊詐欺防止啓発活動」を実施した。

「高岡七夕まつり」は、江戸時代から伝わる伝統行事で広く市民に親しまれ、約 20mの高さのあるジャンボ七夕や、大小 1,000 本の華やかな短冊が夏の夜空を彩る高岡の夏の風物詩である。

1日（月）は、大型七夕飾りの運搬や学校 1 階玄関ロビー（ウィング・ウィング高岡 1 階玄関ロビー）の七夕飾りつけを行った。

その後、代表生徒 9 名は浴衣に着替え、高岡駅ビル「クルン高岡」で行われたオープニングセレモニーにて特殊詐欺防止を願って制作した七夕飾りを披露し、特殊詐欺防止を呼びかけた。

オープニングセレモニー開始前には高岡駅前で、富山県警察マスコットキャラクター「立山くん」や高岡警察署員らと、来場者に、うちわやチラシなど啓発グッズ 100 部の配布を行った。

5日（金）は、14 名の生徒が「クルン高岡」や「ウィング・ウィング高岡」前で、来場者にうちわやチラシなど啓発グッズ 250 部の配布を行った。

【準備の様子】



【オープニングセレモニーの様子】



## ■ 9月10日（土）10：30～14：30 特殊詐欺防止啓発活動の実施

オタヤ子ども食堂（御旅屋セリオ内）において、特殊詐欺防止啓発活動で作成したのぼり旗の掲示、チラシやポケットティッシュの配布を行った。子どもたちには、手作り缶バッジや折り紙のプレゼントも行った。

オタヤ子ども食堂は、地域の子どもたちや家族に昼食を提供するために毎月第2土曜日と第4土曜日の11時から14時頃まで開催されている。大人は300円。子どもは無料。

志貴野高等学校では、子ども食堂の主催者である田辺恵子氏に1年次の生活産業基礎の授業で講義していただいたことをきっかけに、昨年度初めて子ども食堂で「缶バッジのプレゼント」活動を実施、今年度は特殊詐欺防止啓発活動も兼ねて実施した。

当日は10時30分頃から準備を始め、11時少し前からたくさんの親子連れが缶バッジ作りを行うテーブルの前に列を作った。子どもたちが白い台紙に絵を描いたり、準備した下絵に色を塗ったりしたものを、生徒たちが缶バッジに仕上げてプレゼントした。

親子連れが帰る際には、「ご家族で声をかけあって、特殊詐欺に気をつけてくださいね」と声をかけながら、チラシやティッシュなど啓発グッズの配布を行った。

【缶バッジ・折り紙プレゼントの様子】



【啓発グッズ配布活動の様子】



※2023年3月11日（土）にも、オタヤ子ども食堂で特殊詐欺防止啓発活動を実施

## ■10月16日（日）8：00～14：00 特殊詐欺防止啓発活動の実施

第62回八丁道おもしろ市（主催：八丁道おもしろ市実行委員会）において、特殊詐欺防止啓発活動で作成したのぼり旗の掲示、チラシやポケットティッシュ、マグネットの配布を行った。

「八丁道おもしろ市」は高岡の開祖、加賀前田家2代当主前田利長公の命日月（5月）と、発展の礎を築いた3代当主利常公の命日月（10月）に、遺徳を偲び、第3日曜日に国宝・瑞龍寺の参道一帯で実施されているフリーマーケット。1992（平成4）年10月から始まり、今回で62回目となる。

志貴野高等学校の出店テントでは、オリジナル缶バッジ作り体験と併せ、特殊詐欺防止を呼びかけた。

当日は7時50分から生徒が集まり、オリジナル缶バッジ作り体験準備とともに、特殊詐欺防止啓発活動ののぼり旗の掲示、チラシやポケットティッシュ、マグネットなど配布物のセッティングを行った。

開始時間の8時になると多くの来場者が会場に訪れ、生徒たちはオリジナル缶バッジ作り体験の紹介や特殊詐欺防止啓発グッズの配布を行った。

11:30からのステージイベントでは15分間、富山県警察マスコットキャラクター「立山くん」と高岡警察署員、だまされんちゃ県民応援団長の高原兄さんと一緒に特殊詐欺防止啓発に関する発表を行った。

高岡警察署長から富山県や高岡市内での特殊詐欺被害状況が伝えられた後、クイズを通して特殊詐欺の手口や被害に遭わないための対策、相談窓口（警察相談専用電話#9110）等を紹介した。

最後に、富山県の特​​殊詐欺被害防止の合言葉「だまされんちゃ」を参加者全員で唱和し、発表を終了した。

ステージイベントと並行して、ステージ前に設置された参加者用テント内をまわり、チラシやポケットティッシュ、マグネットなど啓発グッズの配布を行った。

【出店テントの様子】



【ステージイベントの様子】



【啓発グッズ配布の様子】



## ■11月5日（土）9：30～9：45 文化祭で特殊詐欺防止啓発活動の報告

令和4年度文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者や一般への公開は行わず、生徒と教職員のみで実施された。

家庭クラブからは、5～10月までの特殊詐欺防止啓発活動について以下の内容を報告した。

1. 5～10月の活動内容
2. 活動を通して気づいたこと
3. まとめ（アンケート結果）と今後の活動

報告の中では、富山県や高岡市内の被害状況、特殊詐欺の種類や特徴、被害を防ぐための具体策を知ることができたこと、啓発グッズの配布などを通して地域の方々に特殊詐欺被害防止を訴えることができたこと、アンケート結果から、特殊詐欺防止啓発教室の講話を通して特殊詐欺に関する生徒の理解が深まったことなどが伝えられた。

また、アルバイトで接客をしている生徒も多いことから、これからも特殊詐欺被害については自分ごととして捉え、被害を減らすために行動してほしい旨が伝えられた。

最後に、富山県の特殊詐欺被害防止の合言葉「だまされんちゃ」を生徒全員で唱和し、活動報告を終了した。

【報告の様子】



【活動内容の掲示】



■ 2月17日（金）10：40～10:50

## 生活文化科合同 HR 特殊詐欺防止啓発活動報告

合同 HR にて生活文化科 1， 2 年次 19 名を対象に、「令和 4 年度家庭クラブ活動報告 君に伝えたい！～特殊詐欺防止啓発活動～」として以下の内容を報告した。

1. 5～12 月の活動内容
2. 活動の振り返り

10 月の文化祭での活動報告内容に加え、10 月 7 日（金）に高岡市生涯学習センターホールで開催された「地域安全ふれあい高岡市民大会」で、生活文化科 3 年次の標語「特殊詐欺 家族で決めよう 合言葉」が審査員特別賞を受賞したことが伝えられた。

年間の活動を振り返り、活動に向けた準備は大変だったが多くの人に特殊詐欺防止について伝えることができ達成感が大きかったこと、自分自身の成長にもつながり、地域貢献にもなることから、次年度以降も本活動を継続して行ってほしい旨伝えられた。

### 【1， 2 年次の感想（抜粋）】

- ・実際に体験してわかったり、新しく気付いたりすることがあると思うので、来年度の実践が楽しみになった。
- ・3 年次になった時、自分たちも特殊詐欺防止啓発活動を継続し、しっかり取り組みたいと思った。
- ・とてもわかりやすい発表だった。来年度は自分たちが県連家庭クラブで発表するので、頑張ろうと思った。

### 【報告の様子】



審査員  
特別賞を  
受賞！





■ 2月21日（火）12：45～13：00 高岡警察署長より感謝状贈呈

---

参加者：高岡警察署長 谷川克也 様 警察署関係者2名  
富山県立志貴野高等学校 稲澤透 校長、古崎裕子 教頭、中村順子 教諭、  
秋野晴香 教諭、生徒（家庭クラブ委員）14名

今年度の特殊詐欺防止啓発活動（高岡市内における特殊詐欺防止啓発キャンペーンなどへの協力、啓発グッズの制作や配布、学校内での啓発活動の実施など）に対して、高岡警察署長より感謝状が贈呈された。

代表生徒からは、今年度の活動実績を踏まえ、次年度以降も活動を継続していきたい旨伝えられた。

今後も連携を深め、学校と警察署が協力して地域における特殊詐欺防止啓発活動を継続していくことを確認し、贈呈式は終了した。

【贈呈式の様子】



## ■各媒体における紹介

---

- NHK 富山 2022年5月6日(金) 18:10~18:15  
富山 NEWS WEB (地域ニュース「ニュース富山人」)  
特殊詐欺の被害防止 高校生が警察官から詐欺の手口を学ぶ
- 富山テレビ 2022年5月6日(金) 19:02~19:04  
「“電子マネーの番号送れ”は全部詐欺」  
高校で特殊詐欺に関する防犯教室 高校生が地域で被害防止の啓発へ
- 読売新聞 2022年5月7日(土)  
志貴野高 詐欺防止啓発校に 今年度唯一、対策学ぶ
- 読売新聞 2022年5月8日(日)  
詐欺防止 高校生も一役 全銀協 啓発実施校に志貴野高
- 北陸中日新聞 2022年5月8日(日)  
志貴野高生「特殊詐欺は身近」全銀協・啓発委嘱校 被害状況など学ぶ
- 北日本新聞 2022年5月8日(日)  
特殊詐欺は多様 だまされないぞ 志貴野高で被害防止教室
- 富山新聞 2022年6月18日(土)  
特殊詐欺被害の防止 志貴野高生呼び掛け
- 富山新聞 2022年8月2日(火)  
七夕飾り まち彩る 高岡でまつり開幕  
特殊詐欺防止願う 志貴野高
- 北日本新聞 2022年8月4日(木)  
特殊詐欺 だまされん！ 志貴野高生が訴え
- 高岡警察署 地域安全ニュース第109号 2022年10月  
活動報告 8月1日、志貴野高校は高岡七夕まつりに合わせて特殊詐欺被害防止を祈願した七夕飾りを作成し、クルン高岡に設置しました
- 富山新聞 2022年10月17日(月)  
買い物、ステージ楽しむ 高岡・八丁道でおもしろ市
- 北日本新聞 2023年2月22日(水)  
志貴野高に感謝状 詐欺被害防止へ啓発

## ■啓発グッズの配布実績

活動／配布先	日付	チラシ	ポケット ティッシュ	ティッシュ ケース	うちわ	缶バッジ マグネット	クリア ファイル
特殊詐欺防止啓発活動 高岡老人保健施設 長寿苑	7/12 (火)	50	50	50	50		
ゆかた de 特殊詐欺 防止啓発活動 高岡七夕まつり	8/1 (月) 8/5 (金)	100 250	100 250		100 250		
特殊詐欺防止啓発 活動オタヤ子ども食堂	9/10(土)	50	50		50	50	
特殊詐欺防止啓発活動 八丁道おもしろ市	10/16(日)	100	100			100	
オープン ハイスクール	10/29(土)	100					
文化祭 (活動報告)	11/5(土)					50	
生活文化科合同 HR 年次集会 (活動報告)	2/17(金)						350
特殊詐欺防止啓発活動 オタヤ子ども食堂	3/11(土)		100				100
<b>合計</b>		<b>650</b>	<b>650</b>	<b>50</b>	<b>450</b>	<b>200</b>	<b>450</b>

### 【缶バッジ・マグネット】



### 【クリアファイル】



## ■ 1年間のまとめ

---

この1年間、特殊詐欺防止啓発活動を行ってきた家庭クラブ委員と担当の中村教諭に、1年間の活動について振り返ってもらった。

### 〈生徒の振り返り〉

#### ① 活動を通して学んだこと、気づいたこと

- ・ 今回の活動では、まず私たちが特殊詐欺について詳しく学び、学んだことをまとめて他者へ向けて発表し、伝えていくという活動を行った。活動を通して、私たちも被害者になる可能性があり、決して無関係ではないということが分かった。
- ・ 金融機関職員の方から、特殊詐欺を防いだ実体験の話聞いた。自分も困っている人を助けられたらいいなと強く感じた。
- ・ 老健施設の訪問では、介護士が利用者と話す時に、はきはきとゆっくり話していることに気づいた。お年寄りと接する際は、このような小さな気遣いが大切なのだと改めて学んだ。
- ・ 特殊詐欺を知らない人に、自分が学んだことをわかりやすく伝えることは難しく、自分が伝えたいことを言葉にするのは大変だと感じた。

#### ② 活動を通して頑張ったこと、自分の成長や社会への貢献を実感したこと

- ・ 啓発グッズのデザインでは、なかなかアイデアが出て来ず悩んだが「だまされんちゃ」の一言を入れることによって、良いものに仕上がったと思う。
- ・ 初めての啓発グッズ配りでは緊張したが、目を合わせて注意を呼びかけることができた。皆さん笑顔で受け取ってくださり、最後までやりきることができて良かった。
- ・ 老健施設活動での「だまされんちゃ！体操」と歌の発表では、利用者の方々も一緒に踊っていただいた。みんなで何時間も準備をしてきて良かったと感じた。
- ・ 七夕祭りでは、浴衣を着て特殊詐欺防止の呼びかけをステージで行った。緊張したが無事、お客さんに呼びかけることができて良かった。
- ・ 警察署の方々と一緒に啓発グッズを配った際には、直接地域の方に活動を呼びかけることで、人々のために活動する充実感や達成感を味わうことができた。

#### ③ これからの生活の中で実践していきたいこと

- ・ 金融機関職員の方に特殊詐欺を防いだ話を聞いた。私はコンビニエンスストアで働いているので、お金をATMで振り込もうとしている人や怪しい振込みがないかを確認するようになった。
- ・ 今回学んだことを生かして家族で合言葉を決め、不審に思ったらすぐ警察に連絡をすることで詐欺に遭わず、家族全員笑顔で暮らしていきたいと思った。

- ・自分だけでなく家族も危険から守りたいと思った。また、コンビニエンスストアなどでATMの前で困っている高齢者を見かけたら、「特殊詐欺ではないですか」と声をかけたいと思った。
- ・約1年間で特殊詐欺や防止する方法について詳しく知ることができ、たくさんの人たちに伝えられた。これからは自分たちも詐欺に気をつけ、もし詐欺被害に遭いそうな人がいたら声がけをしたいと思った。
- ・私たち若い世代も騙される可能性が高く、詐欺グループの手口がより巧妙なものへと変化していくならば、情報のアップデートは定期的に行う必要があると思った。
- ・今年度の活動を生かして、様々なことに自信をもって挑戦していきたい。

### 〈担当教諭の振り返り〉～Learning by doing “為すことによって学ぶ”の実践として～

定時制単位制高校である本校は、多くの生徒が働きながら学んでいる。コンビニエンスストアでレジを担当している者も多くいるので、今回の活動が生徒たちにダイレクトに役立つことを願って取り組んだ。

本校の家庭クラブ活動は生活文化科の生徒が中心となって行っている。今年度の活動を通じて、家庭科での日常の学びを（１）全校生徒にも広げていくこと、さらに（２）地域の中で活動していくこと、を2本の柱に定めて活動計画を立案した。

#### （１） 校内での家庭クラブ活動の充実

年度当初に高岡警察署生活安全課より署員3名に来校いただき、家庭基礎を履修中の1年次と生活文化科全員に講演を行った。警察署員の方から直接講義を受けたことで、生徒たちには大いに刺激になったようである。体育館の大スクリーンで視聴した特殊詐欺の被害に関する最新のデータや、富山県警察が考案した「だまされんちゃ！体操」は、活動を最後まで牽引した生活文化科の3年次生徒にとっては特に印象に残ったようである。

秋の文化祭では、生活文化科3年次が活動の中間報告をGoogle スライドで共同編集し、代表生徒が全校生徒の前で発表し校内での啓発活動とした。また3年次のクラス展示でも関連の展示、啓発活動を行った。

#### （２） 地域社会での活動に歩み出す

高岡警察署との連携を深め、大きなバックアップを得たことで教員側は安心して活動に取り組めた。生徒たちも「自分たちは将来の地域の担い手であるのだ」という意識を高め、意欲的に活動に取り組むことができた。

放課後は生徒たちの活動時間が限られているため、地域での活動は土日のイベントを選んで年間計画を立案した。

①「祭り・イベント会場」という非日常の場を啓発活動の場に設定したこと、②自分たちでデザインを考えた啓発グッズを手にするこ、の二つを支えとして、消極的な性格の生徒たちも啓発活動を挑戦の場と捉え参加することができた。地域のみなさんにチラシを手渡す際には、言葉がけの内容等も考えながら行うことができた。

「高岡七夕まつり」では、全校生徒が特殊詐欺防止の願いを短冊に書き、生徒会執行部と一緒に笹に飾り付けた。七夕飾りは高岡駅前を設置していただき、被害防止に一役買った。祭りのオープニングでは浴衣で挨拶し、啓発グッズの配布で会場を盛り上げた。

「八丁道おもしろ市」では、だまされんちゃ県民応援団長の高原兄さんと一緒にイベント野外ステージに立ち、生徒たちが警察署員と一緒に考えたクイズを行うなど、活動は当初予想していなかった広がりを見せた。イベント主催者から、「ぜひ、野外ステージで啓発活動を」と声をかけていただいた時には、正直不安を感じたが、生徒たちがシナリオを自分の言葉で練り直しクイズを考案するなど、与えられた課題や宿題ではなく、「自分ごと」として生き生きとした取り組みを見せてくれたことが嬉しかった。コロナ禍に入学し、様々なイベントが中止になる中で高校生活を過ごした3年次の生徒たちにとっては大活躍の機会となった。

地域の活動に正解はないが、多くの皆様からの「頑張っているね」、「ありがとう」のたくさん声のかけに、生徒も家庭科教員も大きな手ごたえを感じ、今後の活動に向けての自信につながった。次年度は、今回の活動を中心とした本校の家庭クラブ活動の実践を富山県高等学校家庭クラブ連盟の研究発表大会において発表する予定である。

広報動画の製作や学校ホームページでの報告等、広報活動として取り組みたいことは多々あったが手が回らなかった。次年度以降の課題である。高岡警察署生活安全課担当者の「メディアに取り上げてもらうことが一番の啓発活動になる」という言葉に甘え、新聞社、テレビ局にもお世話になった。一年間、活動に並走していただいた高岡警察署生活安全課の皆様を始め、応援していただいた地域の皆様方に感謝を申し上げたい。

最後に、手厚いご支援をいただいたことで充実した研究活動を行うことができた。貴重な学びの機会をいただけたことに感謝を申し上げて結びとしたい。